

■ 中央大学が推進するグローバル・パーソン育成

近年、「若者の内向き志向」が社会問題となっています。これは、留学や海外就労・勤務を希望しない若者が増えている現状をとらえたものですが、今日の日本においては、私たちの生活そのものがグローバル社会の一部を構成するものであり、グローバル化から目を背けることはできない状況におかれています。

中央大学が、グローバル・パーソンの育成を掲げる理由も、またここにあります。「實地應用ノ素ヲ養フ」を建学の精神に掲げる本学が、今まさになすべきことの一つは、グローバル化が進む社会において、国境の内外を問わず、着実に自己を実現し、社会に貢献できる若く豊かな能力を育むことです。

今回、文部科学省による平成24年度「グローバル人材育成推進事業」に採択されたことを契機に、中央大学では、育成すべきグローバル・パーソン像として、Global



学長・本構想責任者
福原紀彦



教育・大学評価・国際担当
副学長・本構想実施責任者
若林茂則

Generalist (GG)、Global Leader (GL)、Global Specialist (GS) の3つを設定しました。これをもとに、キャンパスの内外、国の内外を問わず、志高い学生がその特性や志望に合わせて活用できる多彩なプログラムを展開しています。

なかでも、「グローバル C-compass」の開発と導入は重要な取り組みの一つです。これは、本学が近年作り上げた「知性×行動特性」学修プログラムのための行動評価指標 (C-compass) をグローバルという視点からさらに充実させるものです。この指

中央大学が育成する3つの人材像



グローバル・ジェネラリスト

国際感覚を持って実務を主体的かつ着実に遂行。
多様性の中で自確力 (Identity) を高め、相互理解を図る。



グローバル・リーダー

広い視野で問題解決に取り組む。
高度な組織的行動能力で創発をリード。



グローバル・スペシャリスト

磨かれた専門性で創発する。
高度な知識説得力と創造力を、グローバルに活かす。

標を使うことによって、「今の自分」の力を知り、「新たな自分」の力を目標として設定できるだけでなく、その道筋を明確化することが可能になります（グローバルC-compassについてはP12を参照）。

また、学修面においては、現代の世界・日本における様々なシステムを成立させている基盤や原理を明らかにし、世界に向けて発信していくために、日本・アジア・世界がどのような歴史的・文化的背景を持ち、そこに生きる人々がどのように考え、どう生きているかを、法律・経済・商学・理工学・文学・総合政策学およびこれらの枠にとられない学際的な研究・教育を通じて修得する環境整備を推進しています。そのために現在、海外からの留学生とともに法律や経済といった「専門科目」を英語で学ぶ教育課程（その一つとして2013年度から開講される「英語で学ぶ日本法」についてはP9を参照）や、そのための教材・教授法を新たに開発しています。

さらに、これまでにはなかった学びの手法、たとえば、2回の短期留学を含む「中央大学SENDプログラム（日本語教育）」（詳しくはP10参照）、海外協定校と合同で行うテレビ授業とフィールドワークを組み合わせたプロジェクト、海外にある同窓会（白門会）や海外協定校との合同シンポジウム（5月28日にタイ国・バンコクで開催された「第1回グローバル中央シンポジウム」について詳しくはP11参照）なども実施しています。

中央大学では、今後も伝統を大切にしながら、近未来社会での学問・教育の必要性を先取りし、社会の最先端での活躍を支える教育を展開していきます。

本学のこうした取り組みに対しては、在学生の積極的な参加を期待するとともに、協定校・ご父母・学員をはじめ多くの関係者の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

対談シリーズ 若林副学長×遠藤議員（法・S48卒）

6月7日、衆議院議員会館にて、遠藤利明衆議院議員と若林茂則副学長による対談が行われました。テーマは、「急激なグローバル化の流れのなかで、今、教育に求められるべき改革とは？」。本学の卒業生でもある遠藤議員は、現在、自由民主党教育再生実行本部長として、安倍首相に大学入試改革を提言するなど、積極的に教育改革を推し進めています。

対談ではとくに英語力の養成に重点を置いて、小学校・中学校・高等学校の現状と課題を挙げ、今後これをどう改革していくべきかについて論じました。

また、大学教育については、海外の大学だけでなく、国内の大学とも協力関係を築くなかで、学生、教員の交流を活発に行い、学内

のグローバル化をさらに推進すべきといった意見交換がなされました。

最後に遠藤議員から本学の学生に向けて「失敗を恐れず、夢を持ってチャレンジを！」との激励もいただきました。

対談内容について詳しくは、次ページで紹介する「GO GLOBAL」サイトで公開しています。ぜひ、ご覧ください。



若林茂則副学長(写真左)と遠藤利明衆議院議員(写真右)